



RYOWA REPORT

株主通信 **vol.18**
第60期業績のご報告
平成20年4月1日～平成21年3月31日

空気と水のテクノロジー

株式
会社 **テクノ菱和**

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

テクノ菱和はこの度第60期(平成20年4月1日から平成21年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

建設業界におきましては、世界的な金融不安の拡大が企業業績を悪化させ、堅調だった民間建設投資が鈍化し、公共建設投資の長期逡減とともに、厳しい受注環境が続いております。

中期事業計画の最終年度である当期は、「不採算案件の排除」「リニューアル工事部門の強化」「原価管理の精度向上」等の施策を重点的に推し進め、受注・利益の確保に取り組んでまいりましたが、企業業績の悪化に伴う計画の延期や中止などの影響を受け、受注高は前期を下回る結果となりました。しかしながら、売上高は前期から繰り越した大型工事の完成等により若干の増加となりました。利益につきましても、不採算工事の減少や工事原価の低減努力等により工事粗利益率が向上し、また、保有不動産の譲渡に伴う特別利益を計上いたしましたことから、前期を大きく上回る結果となりました。

今後につきましては、当社が得意とする産業設備工事やリニューアル工事を重点に営業展開を図るとともに、新たに策定した中期事業計画(平成21年4月～平成24年3月)のもと、安定的な成長と確実な収益の確保に全力で取り組んでまいります。また、新規事業分野への進出を目指すため、環境関連事業推進プロジェクトを引き継いだ環境ビジネス本部を本年4月に新設いたしました。同本部を中心に環境・省エネ関連事業の構築を推進してまいります。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を9円50銭とし、年間で前期より50銭増配となる1株につき16円とさせていただきます。また、当社の創業60周年を記念して、当期末の株主のみなさまに対し、1株を1.1株とする株式の分割を実施いたしました。

次期の業績見通しにつきましては、売上高620億円、経常利益20億円、当期純利益11億円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

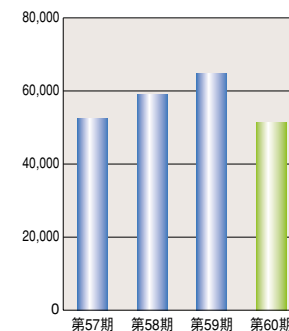
阿部 健司

業績の推移

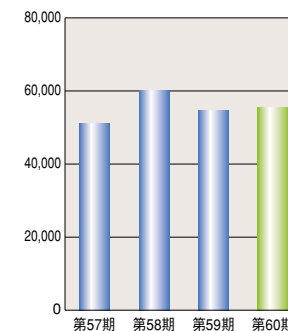
主要な経営指標等の推移(単体)

	第57期 平成18年3月期	第58期 平成19年3月期	第59期 平成20年3月期	第60期 平成21年3月期
受注高 百万円	52,497	58,961	64,796	51,364
売上高 百万円	51,054	60,010	54,586	55,400
経常利益 百万円	1,627	1,859	1,097	2,403
当期純利益 百万円	821	1,103	417	2,796
純資産額 百万円	21,644	22,204	21,196	23,045
総資産額 百万円	45,209	50,941	44,715	51,572
自己資本比率 %	47.9	43.6	47.4	44.7
1株当たり純資産額 円	1,039.44	1,067.20	1,018.84	1,107.74
1株当たり当期純利益 円	38.68	53.06	20.06	134.42
1株当たり年間配当金 円	14.5	15.0	15.5	16.0

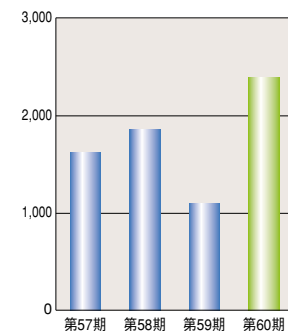
■ 受注高



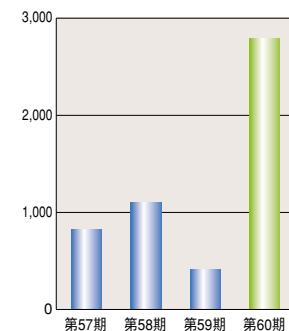
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期純利益



(単位:百万円)

事業の概況 (セグメント別)

産業設備関連事業

当社は、半導体・医薬品製造など高度な最先端施設において、様々な環境技術を駆使し、お客様に信頼性の高いクリーンシステムを提供しております。

当期は、半導体・電子部品産業などで業績悪化に伴う計画の延期や中止が発生した影響もあり、受注高が減少したものの、大阪府堺市でのプロジェクトや医薬品製造関連施設などの大型工事が完成したことにより、売上高は前期を上回りました。

今後につきましては、省エネルギー化などの技術提案営業を積極的に展開し、受注の拡大に取り組んでまいります。

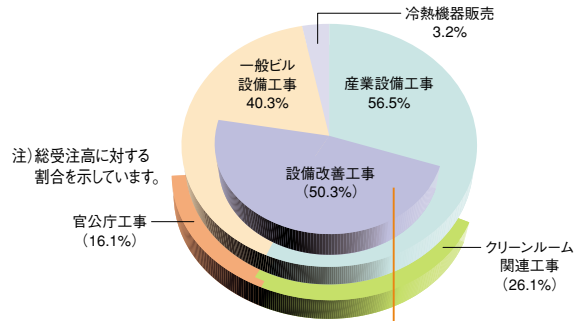
一般ビル設備関連事業

オフィスビルなどの生活空間から、医療・介護施設での環境づくりまで、生活に密着した環境技術を通じ、ゆとりある都市空間の創造に貢献しております。

当期は、急激な景気後退もあり、受注高・売上高ともに前期を下回る結果となりました。

今後も厳しい受注環境が見込まれるなか、当社が得意とするリフォーム・リニューアル工事への営業展開を強化し、実のある安定した受注の確保に取り組んでまいります。

■ 当期受注高構成比



■ 設備改善工事について

設備改善工事は、経年劣化した設備の機能回復、建物・部屋の用途変更のほか、近年注目されている省エネルギー化・CO₂排出量削減をはじめとする環境対策など多様な目的があり、今後も成長が見込まれる分野です。

当社は豊富な実績を基にした技術力と全国に広がるネットワークを活かしてお客様のニーズにお応えしてまいります。

TOPICS

中期事業計画 (平成21年度～平成23年度) を策定しました

当社グループを取り巻く経営環境は、昨年後半以降の急激な景気後退を受けて、設備投資計画の中止や延期が相次ぐなど先行きの読めない不透明な状況にあり、一段と厳しさを増すことが予想されます。

新たに策定いたしました中期事業計画においては、このような情勢においても、確実に収益を確保すべく、これまで培ってきたコア事業である空調

衛生設備工事業の強化を推進すると共に、「環境・省エネ」をキーワードとした事業分野への進出に全社一丸となって取り組み、新たなコアビジネスの構築とコスト管理による収益力の強化を図り、「安定的な成長と確実な利益の確保」を目指してまいります。

■ 基本方針

- ① 当社の強みとなり、差別化を図れる環境技術を構築することで、環境ビジネスへ挑戦し、新たなコアビジネスに育てる
- ② 市場競争力のあるコストの実現に挑戦し、受注力と収益力の強化を図る
- ③ 既存客先との関係を強化すると共に戦略的な営業展開により、安定した受注と利益を確保する
- ④ 人材を中心とした経営資源の確保と育成を図り、社会変化に即応できる体質を確立する
- ⑤ 効率的なITの活用による業務改善を図る

■ 数値目標：本計画最終年度 (平成23年度)

	単体	連結	グループ全体
総受注高	620億円	657億円	666億円
総売上高	620億円	657億円	666億円
経常利益	26億円	28億円	29億円
人員	760名	850人	900人
一人当たり売上高	8,200万円		
一人当たり経常利益	350万円		

施工実績



イオンレイクタウン「mori」(埼玉県越谷市)



中之島新線大江橋駅 (大阪府大阪市)



株式会社ニコン水戸製作所新棟建設工事 (茨城県水戸市)



日本水産株式会社鹿島工場 (茨城県神栖市)

財務諸表（連結）

連結貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産	36,330	42,488
現金及び預金	9,063	13,244
受取手形・完成工事未収入金等	23,264	21,713
未成工事支出金等	3,218	5,878
その他	783	1,651
固定資産	10,984	11,256
有形固定資産	3,072	3,745
無形固定資産	348	679
投資その他の資産	7,562	6,830
資産合計	47,314	53,744

連結損益計算書の要旨

科目	前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	57,766	58,478
売上原価	51,262	50,594
売上総利益	6,504	7,884
販売費及び一般管理費	5,484	5,624
営業利益	1,020	2,259
営業外損益	221	253
経常利益	1,241	2,513
特別損益	△212	2,468
税金等調整前当期純利益	1,029	4,982
法人税、住民税及び事業税	348	2,669
法人税等調整額	202	△531
当期純利益	477	2,844

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債	23,650	28,528
支払手形・工事未払金等	20,245	19,950
未成工事受入金	1,767	3,671
その他	1,637	4,906
固定負債	1,408	1,063
負債合計	25,059	29,592
純資産の部		
株主資本	21,155	24,034
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	15,912	18,791
自己株式	△2	△3
評価・換算差額等	1,099	118
純資産合計	22,255	24,152
負債純資産合計	47,314	53,744

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,378	2,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△862	1,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211	△349
現金及び現金同等物の増減額	1,305	4,220
現金及び現金同等物期首残高	7,295	8,601
現金及び現金同等物期末残高	8,601	12,821

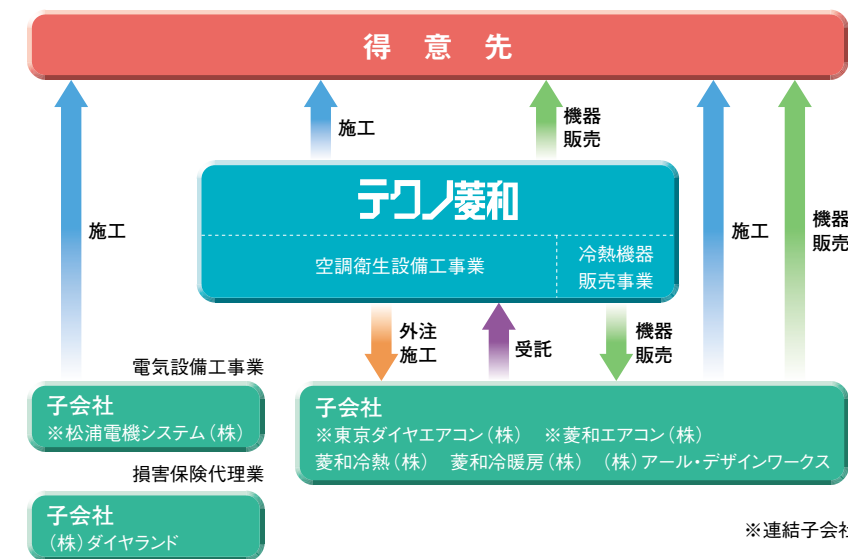
連結株主資本等変動計算書の要旨

当事業年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

(単位：百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金		評価・換算 差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	15,912	△2	21,155	821	277	1,099	22,255
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△332		△332				△332
当期純利益			2,844		2,844				2,844
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			367		367				367
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）						△613	△367	△981	△981
事業年度中の変動額合計	—	—	2,879	△0	2,878	△613	△367	△981	1,897
当事業年度末残高	2,746	2,498	18,791	△3	24,034	207	△89	118	24,152

■ 企業集団の状況



■ 連結子会社

- 東京ダイアエアコン(株)**
住 所：東京都新宿区
資本金：30,000千円
主要な事業の内容：空調衛生設備工事業
- 菱和エアコン(株)**
住 所：愛知県名古屋
資本金：40,000千円
主要な事業の内容：空調衛生設備工事業
- 松浦電機システム(株)**
住 所：大阪府守口市
資本金：20,000千円
主要な事業の内容：電気設備工事業

※連結子会社

財務諸表(単体)

貸借対照表の要旨

科目	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産	33,687	40,271
現金及び預金	7,599	11,665
受取手形・完成工事未収入金等	22,229	21,047
未成工事支出金等	3,083	5,816
その他	775	1,742
固定資産	11,027	11,300
有形固定資産	2,940	3,617
無形固定資産	334	668
投資その他の資産	7,752	7,014
資産合計	44,715	51,572

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債	22,356	27,698
支払手形・工事未払金等	19,274	19,409
未成工事受入金	1,583	3,514
その他	1,498	4,774
固定負債	1,162	828
負債合計	23,518	28,527
純資産の部		
株主資本	20,095	22,925
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	14,853	17,683
自己株式	△2	△3
評価・換算差額等	1,101	119
純資産合計	21,196	23,045
負債純資産合計	44,715	51,572

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	当事業年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	54,586	55,400
売上原価	48,649	48,081
売上総利益	5,936	7,319
販売費及び一般管理費	5,047	5,157
営業利益	889	2,162
営業外損益	208	241
経常利益	1,097	2,403
特別損益	△208	2,478
税引前当期純利益	888	4,882
法人税、住民税及び事業税	287	2,610
法人税等調整額	183	△524
当期純利益	417	2,796

CLOSE UP

【無形固定資産(ソフトウェア仮勘定)】

平成22年度からの導入を目指して基幹システムの再構築作業を実施しており、その開発費用といたしまして、当事業年度に360百万円を計上しております。

【売上総利益】

売上高は前年同期と比べ若干の増加にとどまりましたが、選別受注を進めた結果、不採算工事が減少したこと等により、工事粗利益率が向上し、売上総利益は増加いたしました。

【特別損益】

東京都港区南青山に保有しておりました不動産を譲渡したことによる固定資産売却益2,973百万円を計上いたしました。また、保有する株式の株価下落により、投資有価証券評価損461百万円を計上いたしました。

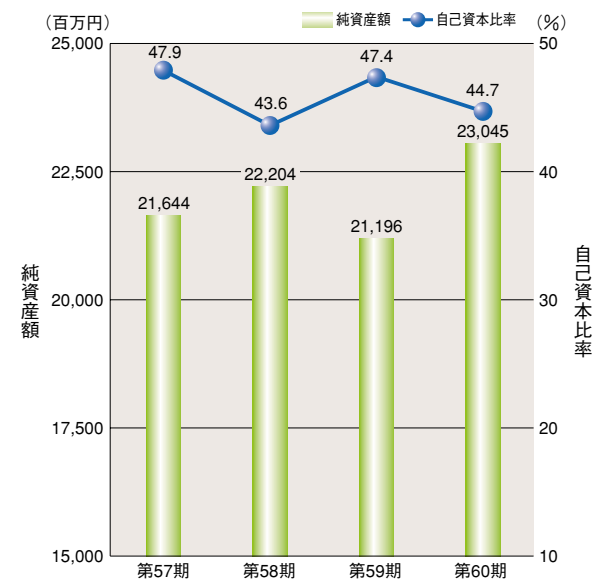
株主資本等変動計算書の要旨

当事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

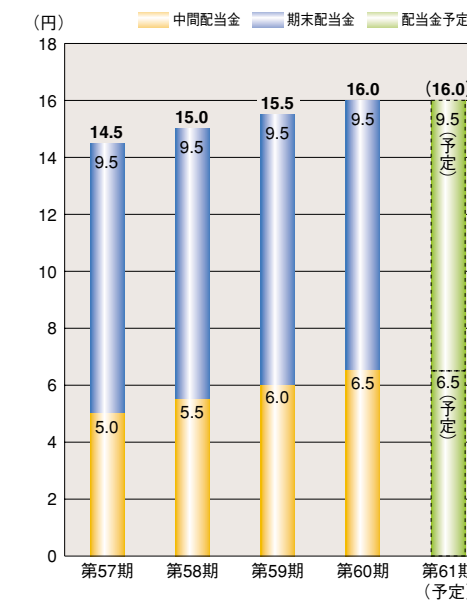
(単位:百万円)

科目	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金		評価・換算差額等合計
前事業年度末残高	2,746	2,498	14,853	△2	20,095	823	277	1,101	21,196
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△332		△332				△332
当期純利益			2,796		2,796				2,796
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金取崩額			367		367				367
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△614	△367	△982	△982
事業年度中の変動額合計	-	-	2,830	△0	2,830	△614	△367	△982	1,848
当事業年度末残高	2,746	2,498	17,683	△3	22,925	208	△89	119	23,045

■ 純資産額と自己資本比率の推移



■ 1株当たり配当金の推移



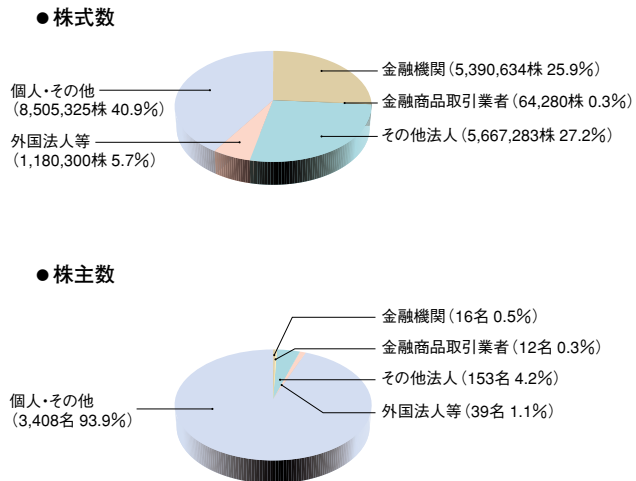
株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行済株式の総数 20,807,822株
 当期末現在の株主総数 3,628名

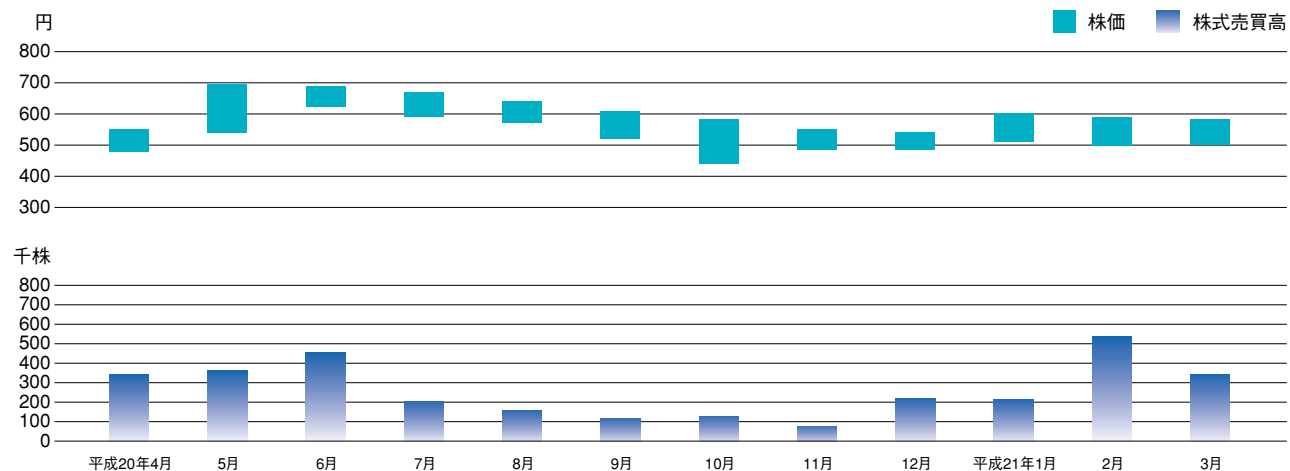
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱重工業株式会社	1,294	6.2
テクノ菱和取引先持株会	1,264	6.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,028	4.9
株式会社みずほ銀行	1,028	4.9
近重次郎	880	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	824	3.9
テクノ菱和従業員持株会	721	3.4
株式会社名古屋銀行	670	3.2
明治安田生命保険相互会社	667	3.2
株式会社京葉銀行	658	3.1

株式の分布状況



株価データ (株価の推移)



会社概要

会社概要 (平成21年3月31日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
 (英文名 TECHNO RYOWA LTD.)
 設立 昭和24年12月23日
 資本金 2,746,800,000円
 上場 東証市場二部
 従業員 674名
 本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
 (登記上の本店 東京都港区赤坂8丁目5番41号)

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
 東京本店(東京都豊島区)
 茨城支店(茨城県土浦市)
 東北支店(宮城県仙台市)
 千葉支店(千葉県千葉市)
 横浜支店(神奈川県横浜市)
 名古屋支店(愛知県名古屋市)
 静岡支店(静岡県静岡市)
 大阪支店(大阪府大阪市)
 中国支店(広島県広島市)
 九州支店(福岡県福岡市)

事業内容

産業設備関連事業
 クリーンシステム(塵埃・微生物除去)
 恒温・恒湿設備・低湿度設備
 省エネルギー・省資源設備
 スポット空調設備
 産業排水・排気処理設備
 冷凍・冷蔵設備・超低温設備
 クリーン流体処理プラント
 生産プロセス関連工事
 原子力関連設備

一般ビル設備関連事業
 一般空調設備
 給排水衛生設備
 防災・消火設備
 排水処理設備
 地域冷暖房
 コージェネレーション設備

設備改善関連事業
 設備診断および設備リフォーム工事
 保守およびメンテナンス工事
 その他上記関連設備の運転管理および建築付帯設備などの設計施工ならびに関連機器類の製造・販売

建設業許可番号
 [特定建設業]
 管工事業
 建築工事業
 電気工事業
 機械器具設置工事業
 水道施設工事業
 国土交通大臣許可(特-16)第3101号

[一般建設業]
 消防施設工事業
 国土交通大臣許可(般-16)第3101号

一級建築士事務所
 東京都知事登録 第43570号

電気工事業
 経済産業大臣届出 第11020号

建築物環境衛生総合管理業
 東京都知事登録 17総第87号

一般労働者派遣事業
 厚生労働大臣許可 般13-090202

ISO9001認証取得
 ISO14001認証取得

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 阿部 捷司
 常務取締役 黒田 英彦
 常務取締役 堂垣内 重晴
 取締役 黒川 英樹
 取締役 杉田 章夫
 取締役 星野 公二
 取締役 平松 博
 取締役 井尻 雅之
 取締役 飯田 亮輔
 取締役 松橋 秀明
 取締役 知見 扶公
 取締役 永江 繁
 取締役 濱野 豊
 常勤監査役 菱沼 正義
 常勤監査役 近重 次郎
 監査役 吉田 達法
 監査役 山田 英雄

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
公告掲載URL	http://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

1. 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしました当社専用の「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金額収証」により配当金をお受取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株主ご優待制度のお知らせ

毎年3月31日現在当社株式を100株以上保有していただいている株主のみなさまに静岡の「特選茶」を贈呈いたします。



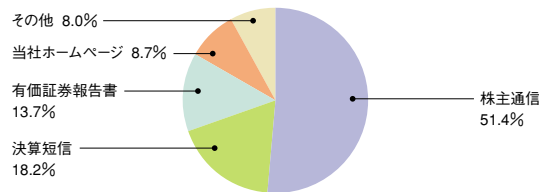
●ホームページアドレス <http://www.techno-ryowa.co.jp/>

株主様アンケートの結果報告

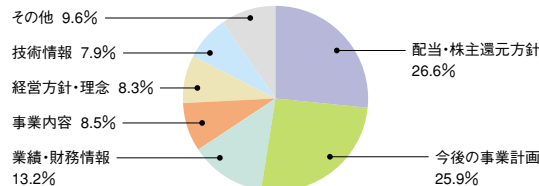
昨年12月に実施いたしました「株主様アンケート」に多数の株主様からご返答をいただき、ありがとうございました。アンケートにご協力いただきましたみなさまに、深く御礼申し上げますとともに、この度いただきましたご意見を誠実に受け止め、今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。

今回は、お寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

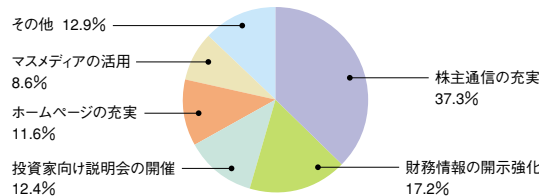
Q1. 当社が開示している情報の中で、よくご覧になる資料をお聞かせ下さい。



Q2. 当社についてもっとお知りになりたい情報をお聞かせ下さい。



Q3. IR活動で充実を期待する点をお聞かせ下さい。



Q4. 当社の株式の保有方針についてお聞かせ下さい。

